



令和5年度 学校便り 特別号
加古川市立平荘小学校
令和5年10月4日
※カラー版は本校HPをご覧ください

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

今年度、4月18日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数（数学）」等の学習状況と児童・生徒の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回の調査結果は、児童の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果を基に本校の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。



学力調査、国語・算数では、平荘小学校の児童の学力について、以下のような結果が見られました。

国語

☆概ね力がついていること

- ・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使えること【情報の扱い方に関する知識・技能】
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができること【読む力】
- ・漢字を文の中で正しく使うこと、日常よく使われる敬語を理解していること【言葉の特徴や使い方に関する知識・技能】

☆これから力をつけていきたいこと

- ・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること【話すこと・聞くこと】
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること【話すこと・聞くこと】
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること



算数

☆概ね力がついていること

- ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができること【数と計算】
- ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること【数と計算】
- ・示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述すること【データの活用】

☆これから力をつけていきたいこと

- ・百分率で表された割合について理解すること【変化と関係】
- ・図形の意味や性質について理解していること【図形】
- ・示された表から必要な数を読み取ることができること【数と計算・データの活用】



生活・学習の状況

生活実態調査は、「児童質問紙」として59項目の質問によってオンラインで行われ、全ての項目の回答結果について考察しました。その中で特徴的な項目については以下のようになります。

<自尊感情に関わる項目>

- ・「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童…約90%
- ・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童…約93%

90%を超える平荘小学校の児童が、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と答え、自尊感情が育っていることがうかがえます。子どもたちが自分の夢に向かって成長していけるように、学校と家庭、地域が連携して、地域総がかりの教育活動を進めたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

<人権意識に関わる項目>

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童…約93%

90%以上の児童が、「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答したことから、いじめをゆるさないという児童の意識がうかがえます。

今年度も、児童会を中心に、あいさつボランティアやはるかのひまわりプロジェクトを実施しています。全校児童が一人ひとりの人権を大切に、「いじめは許さない!」という思いを一層もてるように、引き続き取り組みます。

<学習習慣に関わる項目>

- ・「学習が好き」と回答した児童…国語 約64%、算数 約64%、英語 約90%
- ・「家で、自分で計画をたてて学習している」と回答した児童…約64%
- ・「1日当たり2時間以上家庭学習（学習塾や家庭教師に教わっている時間も含む）をしている」と回答した児童…月～金 約7%、土～日 約10%

学習習慣について、「予習・復習に取り組む児童が少ない」「1日当たりの家庭学習（塾を含む）の時間が2時間以上の児童は少ない」などの課題が明らかになりました。家庭学習については、4月に「平荘っ子 家庭でチャレンジ（ガイドブック P23）をお配りしています。家庭学習の質と量を、さらに高めていけるように、学校としても努力していきますので、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

国語、算数の2教科において、基礎的な内容については概ね力がついています。しかし、国語では、「話すこと・聞くこと」に関する内容に課題が見られました。また、算数では、割合や比例など、「変化と関係」に関する内容に課題が見られました。個人間の理解の差が大きいことも課題です。

学校では、基礎学力の定着に向けて「ドリル学習」や「小テスト」に取り組んでいますが、「できる学力」（知識・理解）とともに、「わかる学力」（思考・判断・表現）を身に付けることを目指して、今年度も授業改善に取り組んでいきます。児童の主体的な学習への取り組みをさらに追及するため、クロームブックの活用もさらに進めていきます。

今後とも、学校と家庭とが連携しながら、更なる充実を図り、学力向上を目指していきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。